
口笛と帰り道

葉月 影

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

口笛と帰り道

【コード】

N0438M

【作者名】

葉月 影

【あらすじ】

あの日に聞いた、口笛。

口笛を吹いてみる。

でも、僕の口から出た音は、空気の抜けたような掠れた音だけだ。

あの頃に聞いた口笛の音からは、程遠かった。

その口笛を最初に聞いたのは確か、夏も過ぎて、文化祭もそろそろ始まるぐらいだったかな・・

その時の僕は、何をやっても悪い方向へしか行かなくて、

焦っていたり、悩んだり色々ごちゃごちゃしてた。

だから、気分転換になればっていつもと違う道で帰っていた。

その帰り道だったんだ。

口笛を聞いたのは。

何の曲だったのか、

誰が吹いてるのか、

それは僕には全然分からない。

でも、元気が出たのは、確かだった。

心地よかったのも、確かだった。

それから毎日その場所へ通った。

同じ場所、同じ時間、同じメロディー。

僕は、飽きなかったし、辛いとき、悲しいときに聞くとそんな気持ちもなくなっていたんだ。

それを聞いたおかげで、良くなった。

良くなったのは、口笛のおかげなのかは分からない。

でも、

僕はそう思いたい。

あの時の、口笛を吹いていた人は、わからない。

でも、伝わってたらいいなって思う。

僕からの、ありがとうの気持ち。

f
i
n
.

(後書き)

読了ありがとうございます。

誤字等の訂正すべきところなどありましたら、葉月までお願いいたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0438m/>

口笛と帰り道

2010年10月21日20時18分発行